

活動名	キャンドルファイヤー (館内活動)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 炎を囲み、心静かに自分自身を見つめ、行動をふり返る。</li> <li>○ ダンス、スタンプなどの創意工夫の中で、仲間との連帯感や友情を深める。</li> <li>○ 楽しい活動を通して、明日へのよりよい生活への意欲を育てる。</li> </ul>	
条件	<p><b>場所</b> 研修スペース</p> <p><b>対象</b> 小学校高学年以上</p> <p><b>時期</b> 通年</p>	<p><b>時間</b> 40分～1時間半 (人数に応じて変更有)</p> <p><b>人数</b> 10～200人 (キャンドルサービスは人数制限有り)</p> <p><b>天候</b> 雨天時可</p>
提出物	<b>書類</b> 用具貸出票	<b>経費</b> なし
準備物	<p><b>貸出</b> <input type="checkbox"/>CDラジカセ    <input type="checkbox"/>マイク  <input type="checkbox"/>ランタン        <input type="checkbox"/>ブルーシート  <input type="checkbox"/>燭台(大)        <input type="checkbox"/>手持ち燭台  <input type="checkbox"/>燭台(大)ろうそく</p>	<p><b>団体準備</b> <input type="checkbox"/>手持ちろうそく(1.5号)  <input type="checkbox"/>チャッカマン    <input type="checkbox"/>衣装  <b>(個人準備)</b> <input type="checkbox"/>CD    <input type="checkbox"/>スタンプ関係の道具  <input type="checkbox"/>ランタン用電池(1台につき単一4本)</p>
展開	<p><b>事前準備 (学校で)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらいと当日の流れ(3部構成)を設定する。</li> <li>・役割(火の神、火の御子、火の守、司会など)を分担する。必要に応じて練習を行う。</li> </ul> <p><b>準備 (本番45分前)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修スペースにブルーシートを敷き、中央燭台をセットする。</li> <li>・中央燭台や手持ち燭台(児童生徒数+火の神+火の御子+火の守用)にろうそくを付ける。</li> <li>・司会のリハーサル、音響操作、照明装置の確認をする。</li> <li>・火の神入場から中央燭台点火までの流れを確認して、本番用の衣装に着替える。</li> </ul> <p><b>引率者役割分担(例)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・司会進行補助(音響):1名    ・火の神:1名    ・入場補助:1名    ・消火安全管理:全員  (・照明担当:1名    ・撮影記録:1名    人数が少ない場合は兼務)</li> </ul> <hr/> <p><b>本番 第1部 迎え火のつどい:セレモニアルファイヤー(10～20分)</b>  ①開会 ②火の神・御子・守入場 ③火の神の言葉 ④火の守分火 ⑤誓いの言葉 ⑥点火</p> <p><b>第2部 送り火のつどい:メモリアルファイヤー(10～20分)</b>  ①キャンドルサービス</p> <p><b>第3部 交歓のつどい:ボンファイヤー(15分～)</b>  ①レクリエーション(ダンス・スタンプなど) ②閉会</p> <hr/> <p><b>事後 片付け</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使ったろうそくを燭台から外して、ろうそく入れに入れる。</li> <li>・ブルーシートに垂れているろうを削り取る。</li> <li>・床にろうを落とさないようにほうきで掃除し、ブルーシートを元通りにたたむ。</li> </ul>	
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本番の前に、キャンドルサービスの立ち位置確認の場を設けて、移動の仕方や手持ち燭台の扱い方を指導する。特に、分火の仕方は、安全に十分気を付けるよう指導を徹底する。</li> <li>・垂れたろうによって床が滑らないように、終了後は丁寧に掃除する。</li> </ul>	
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交歓のつどいの前に、床に敷いたブルーシートを片付ける時間を設定する。</li> </ul>	

# 場のイメージ

**準備** 司会進行、音響操作は、放送設備がある掲揚旗下で行う。  
照明は、階段下脇の操作盤で調節する。  
ろうそくを人数分つけて手持ち燭台を準備する。

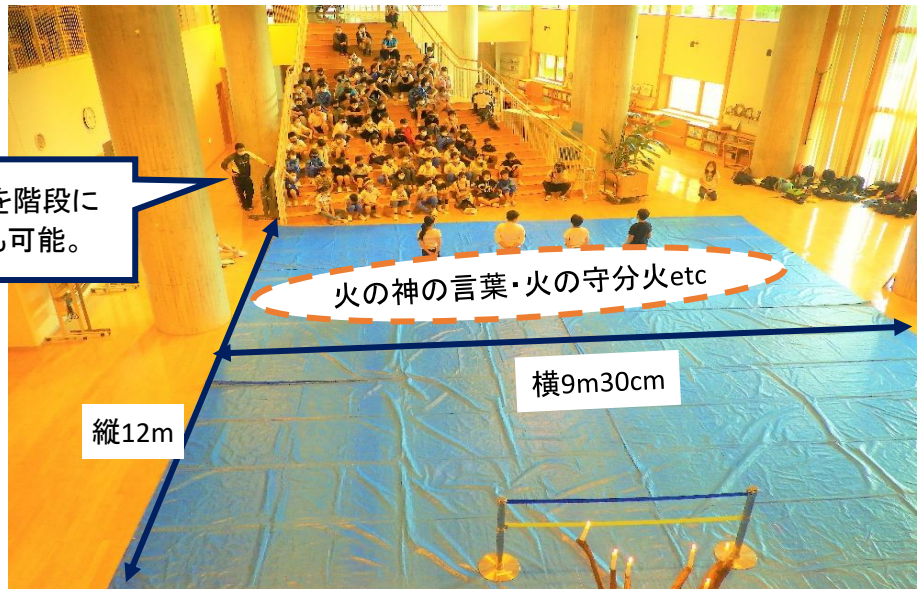
**展開** 事前 流れと安全面の配慮を確認する。

- 活動 第1部 迎え火のつどい(セレモニアルファイヤー)  
・火の神入場: 宿泊室側階段 or 食堂側階段  
・観覧場所: ブルーシートの上 or 大階段に整列(120人以上)
- 第2部 送り火のつどい(メモリアルファイヤー)  
・キャンドルサービス(燭台を中心に2~3重円 ※要相談)
- 第3部 交歓のつどい(ボンファイヤー)  
・スタンプ披露(大階段下) ・ダンス(※人数など要相談)

注 キャンプファイヤーとは3部構成の順番が違います！

事後 使い終わったろうそくをろうそく入れに入れる。

第1部のセレモニーを階段に座って観覧することも可能。



スタンプを観覧するとき、階段に座ると見やすくてよい。



燭台を端に移動し、スタンプを行うためのスペースを広げる。

## 参考資料



- 火の神々が宿泊室側の階段から入場する。BGM:「遠き山に日は落ちて」



- 火の神の話に耳をかたむける。



- 火の神が火の守に分火し、それぞれ誓いの言葉を述べる。



- 燭台に進む際は、引率者が付き添うか安全に誘導する。燭台のろうそくは、中央から点火する。



- BGM:「燃えろよ燃えろ」をみんなで歌い、火の神、火の守は退場する。



- 燭台を掲揚旗下に移動し、大階段前のスペースを広げてスタンツを行う。学年の団結力が試される。



- キャンドルサービスは、シートいっぱいに広がって前後の間隔を空けて行う。BGM:「今日の日はさようなら」など



- スタンツやダンスは、手持ち燭台やブルーシートを片付けてから実施する。